

～村岡花子の軌跡をたどる～

# パイプオルガン コンサート

パイプオルガンの音色に包まれ  
村岡花子の息吹にふれる

## プログラム

- お 話 「大森めぐみ教会と村岡花子のゆかり」
- 演 奏 トッカータ 二短調 (ブクステフーデ)  
「マニフィカートのためのオルガン曲集」第2 旋法の組曲より  
テノールをティエルスで  
バスをトランペットで (ギラン)  
フーガ ト短調 (バッハ)  
フーガ ト長調 (バッハ)
- 語 り 「アンのゆりかご」及び「赤毛のアン」から抜粋
- 演 奏 『花子とアン』主題歌「にじいろ」(編曲：井上圭子)  
前奏曲とフーガ ロ短調 (バッハ)



演奏 井上 圭子氏



語り 勝田 香子氏



お話 関川 泰寛氏

# 2014年6月14日[土]

開演 午後3時 開場 午後2時30分

会場 日本基督教団大森めぐみ教会

- 
- 主催 大田区「花子とアン」推進委員会
  - 協力 日本基督教団大森めぐみ教会  
赤毛のアン記念館・村岡花子文庫





大森めぐみ教会

# 大森めぐみ教会と村岡花子のゆかり

大森めぐみ教会は、1927年(昭和2年)12月4日、故岩村清四郎牧師が現在の中央七丁目、もとの新井宿六丁目に設立しましたが、1945年(昭和20年)5月の東京大空襲によって戦前の教会も併設していた幼稚園、女学校も焼失してしまいました。その後、現在の池上一丁目に移り今日に及んでいます。村岡花子さんは移転前の教会の近くに住んでおり、大森めぐみ教会の会員でした。

## お話 関川 泰寛 Yasuhiro Sekikawa

大森めぐみ教会牧師。  
2013年4月1日から土戸清牧師の後を継ぎ、大森めぐみ教会の牧師に就任。東京神学大学教授。めぐみ幼稚園園長。



## 演奏 井上 圭子 Keiko Inoue

東京藝術大学オルガン科卒業、同大学院修了。ドイツ、フライブルク音楽大学ソロ科を卒業、国家演奏家試験に合格。ドイツ、フランス、デンマーク、スイス、アメリカ、ベルギー、チェコ、ポーランド、香港など各地で演奏。国内ではソリストとして全国各地のホールから招かれ演奏会を開催。またオーケストラとの演奏会も多い。日本コロムビアより10枚のCDをリリース、NHK『芸術劇場』『名曲アルバム』、『題名のない音楽会』ほかテレビ、FMなどに出演。昨年は国際コンクールの審査員にも招かれた。大森めぐみ教会オルガニスト。  
2013年より大田文化の森運営協議会委員。 <http://keiko-i.com>

## 語り 勝田 香子 kyoko Katsuta

フェリス女学院大学文学部卒業。兵庫県出身。ジョイスタッフ所属のアナウンサー。J:COM「デイリー大田」キャスター(水曜担当)、ストックボイスTV、MX「TOKYOマーケットワイド」キャスター(火曜後場・水曜前場)、フーディーズTV「シェアキッチン」ナレーション(#19~)などを務めている。ナレーター榎大輔氏より読み語りの指導を受ける。



## パイプオルガンについて

楽器の女王と称されるパイプオルガンは、ピアノと同じ鍵盤楽器ですが、音源は弦ではなく笛です。何百、何千もの笛(パイプ)の集合体で、それらの笛に風を送り、音を奏でます。長さ、材質、形の違うパイプ1本1本は違う音程と音色を持ち、それらを組み合わせて演奏します。古代ギリシャでは儀式を飾り、ヨーロッパのキリスト教文化の中で、神への信仰と賛美を奏で、オルガン史は発展してきました。

そして今、パイプオルガンは(教会ばかりでなくコンサートホールにも設置され)オーケストラに比する豊かな響きで人々の心を魅了しています。

日本にあるシュヴェンケデル社製のオルガンは大森めぐみ教会の1台のみ

設置 1970年6月7日  
製作 シュヴェンケデル社  
(フランス ストラスブール市:アルザス地方)  
構成 18ストップ  
パイプ本数 1,225本

- I Grand-Orgue 56鍵
- 1. Montre 8'
- 2. Flûte a cheminée 8'
- 3. Prestant 4'
- 4. Flûte conique 2'
- 5. Nazard 2 2/3'
- 6. Tierce 1 3/5'
- 7. Plein-jeu 4-5列
- 8. Trompette 8' (en chamade)

- II Brustwerk 56鍵 Boite expressive
- 9. Bourdon 8'
- 10. Flûte a cheminée 4'
- 11. Principal 2'
- 12. Larigot 1 1/3'
- 13. Cymbale 3列
- 14. Cromorne 8'  
Tremblant

- Pedale 30鍵
- 15. Soubasse 16'      カブラーII/I
- 16. Flûte 8'      カブラーI/P
- 17. Principal Italien 4'      カブラーII/P
- 18. Douçaine 16'
- Mechanical action







## 豊かな自然と歴史の地にある 大森めぐみ教会

大森めぐみ教会は、池上本門寺山に隣接する東南向きの丘(スロープ)の上であり、敷地の広さは2000坪、東京都内では一番の広さを誇っています。敷地には、噴水のある池、樹齢60年の桜や泰山木、くるみの木などがあり、緑豊かな美しい教会です。

現在の教会堂は1967年(昭和42年)に建てられ、スイス、アルプスの教会のような礼拝堂と日本最初のアルザス地方のオルガン(18ストップ)が備えられています。



高窓には美しいステンドグラスが飾られています。



### めぐみ坂

池上一丁目18番と19番の間を堤方神社脇まで上がる坂道。坂を上がる左側にめぐみ教会があるため、この名で呼ばれることが多いようです。以前は「あけぼの楼」という料亭があったため、「あけぼの坂」と呼ばれていました。

## 教会の地の由来

教会の敷地内には徳川三代将軍家光お手植えの梅(樹齢約380年)があります。かつて、この場所には五代将軍綱吉の時の昌平坂学問所の学頭木下順庵(1621-98)が隠居地として住んでおりました。今でも教会の門の傍らに「木下順庵先生墓跡」という石碑が建っています。



明治の初めには「あけぼの楼」という有名な料亭が建てられ、日露戦争の国家的勝利の祝宴が開かれたといわれています。



# 村岡花子が暮らしたまち

## 大森



写真提供:赤毛のアン記念館・村岡花子文庫

NHK連続テレビ小説『花子とアン』主人公のモデル、村岡花子さんは、26歳で結婚後、大田区大森で生涯を過ごしました。「赤毛のアン」を翻訳したのもこの地です。

### 『赤毛のアン』誕生

1939年(昭和14年)、村岡花子は出版社で一緒に仕事をしてきたカナダ人宣教師ミス・ショーから「友情の記念」としてモンゴメリ作による「Anne of Green Gables」を手渡され、いつか平和が訪れたら日本の少女たちに

紹介してほしいと託されました。そこで、花子は戦火の中、命をかけてこの本を翻訳しました。

1952年(昭和27年)にようやく出版の運びとなるもののタイトルがなかなか決まりません。この本の原題の直訳は『緑の切妻屋根のアン』。日本人にはわかりづらいので、花子は、『夢見る少女』『窓辺の少女』『窓辺に倚る少女』などロマンティックなタイトルを考えます。ようやく『窓辺に倚る少女』に決めて帰宅した夜、出版社の社長からじきじき電話があり、「若い担当編集者が『赤毛のアン』はどうだろうと言っている」といわれます。花子自身は嫌だと断ったのですが、二十歳になる娘のみどりの「素晴らしいわ!ダンゼン『赤毛のアン』になさいよ!」という言葉に、若い人の感覚に任せる、と、急遽『赤毛のアン』に差し替えられたのです。

村岡花子 (旧姓・安中、本名・はな)  
明治26年6月21日、山梨県甲府市で8人兄弟の長女として生まれる。5歳のときに一家で上京。10歳のときに給費生として東洋英和女学校高等科に編入学。卒業後は、山梨英和女学校の英語教師として赴任。大正8年、26歳のとき教師を辞して、上京。日本基督教興文協会(現・教文館)の編集者となり、女性や子ども向けの翻訳と編集に携わる。その年に村岡徹三と結婚。大森(新井宿)に新居を構える。(昭和43年に亡くなるまで居住。)、後々、家庭文学の翻訳家となることを決意。昭和2年、歌人・翻訳家の片山廣子の勧めでマーク・トウェイン作『王子と乞食』を翻訳を手がけ、出版。戦時中、カナダ人宣教師から贈られたモンゴメリ作「アン・オブ・グリーン・ゲイブルス」の翻訳を続け、昭和27年『赤毛のアン』として出版し、好評を得る。(その後、シリーズとして刊行。)  
生涯を通して、多くの英米文学作品の翻訳、童話などを手掛け、児童文学の振興に貢献した。  
昭和43年、脳血栓により急逝。(75歳)葬儀は大森めぐみ教会で執り行われた。

### 村岡花子の思い出の曲

#### 『トロイメライ』

花子が東洋英和女学校の寄宿生だった頃のこと。放課後、校門を出て鳥居坂を下り、麻布十番の商店街にある松源堂という和菓子屋で金つばを買うのが寄宿生の大きな楽しみだった。ゆるやかな坂の途中で聞こえてくる『トロイメライ』のピアノの調べにうっとりし、晴れ晴れとした気分になった。その曲を聴くと寄宿生時代の甘美な思い出が蘇ってくると本の中で花子は述べています。



写真提供:赤毛のアン記念館・村岡花子文庫



写真提供:赤毛のアン記念館・村岡花子文庫

## 展示イベント

### 村岡花子が暮らしたまち大森

村岡花子に関する展示や昭和の大森、馬込文士村関連資料を展示中。(9/27(土)まで)

大田文化の森 1階展示スペース 大田区中央2-10-1

9:00~22:00 休館日:第2木曜日(祝日の場合翌日)

※会期中は展示替え等でご覧いただけない場合があります。詳細は大田区HPでご確認ください。

【連絡先】大田区「花子とアン」推進委員会事務局(大田区観光・国際都市部国際都市・多文化共生推進課)

Tel:03(5744)1226 FAX:03(5744)1518